

区は、新たな「安全・安心創造都市づくり」の推進力として、WHO協働センターが提唱する「セーフコミュニティ」への取り組みを、平成22年2月から行なってきました。高齢者や障害者、子ども、自転車利用や繁華街の安全、地震災害、そして虐待や自殺など10項目の重点課題を定め、多くの方のご協力をいただきながら、活動を展開してきました。

その成果がみのり、世界では296番目、国内では5番目のセーフコミュニティネットワークメンバーとなりました。また、区立朋有小学校が「インターナショナルセーフスクール」の国際認証も取得できました。区制80周年を迎える今年は、新たな都市づくりがスタートする年でもあります。未来に向けて、今後も皆様のご協力をお願いします。

関セーフコミュニティ推進室 ☎3981-1782

セーフコミュニティの旗を囲んで認証を喜ぶ関係者



## 第6回アジア地域 セーフコミュニティ会議開催!

11月28日~30日

日本初のアジア会議にあわせ、安全・安心まちづくりの新たなスタートを宣言

インターナショナルセーフスクールの認証同時取得!

セーフコミュニティの合意書と盾



**レイフ スヴァンストローム氏**  
(WHOセーフコミュニティ協働センター代表、スウェーデン王立カロリンスカ医科大学教授)

セーフコミュニティは、世界でもっとも広がり、また成果を収めている運動の一つです。約40年前にスウェーデンの小さな町で始まったこの活動は、現在では世界中の約100の国々、数千のコミュニティに広がっています。コミュニティや住民の事故・暴力、自傷などの無い生活を望む気持ちがあり、こうした成果の基盤です。

それぞれの国やコミュニティの取り組みに関する交流のため、世界・地域会議が開催されてきました。なかでもアジア地域では、セーフコミュニティの質を確保する仕組みがしっかりしています。この会議に参加されている皆さんが、私たちと共に世界的な取り組みに参加されることを歓迎します。



▲レイフ氏の基調講演



▲台湾台北市文山(ウエンシャン)区とセーフコミュニティ友好都市協定を締結しました

▲豊島区からは、12のテーマで安全・安心の取り組みについて、発表を行いました



▲インターナショナルセーフスクールの認証を得て、朋有小学校の児童が成果を発表